

2月市会

2/16~3/24

## イランをめぐる軍事行動の即時停止と平和的解決を求める決議

全会一致で可決

アメリカとイスラエルによるイランへの先制攻撃を機に軍事衝突が激化、子どもを含む多くの市民が犠牲になっています。決議では、力による一方的な現状変更は「本市として到底容認できるものではない」と断じ、日本政府に対し、即時停戦と対話再開に向けた外交努力を求めています。

党議員は本会議で討論し、アメリカの無法と日本政府の追従外交を厳しく批判しました。

## 配置基準をはじめ保育士等のさらなる処遇改善と 保育人材確保に向けた意見書 全議員の共同提案で可決

子どもの育ちを支える施設である保育園や認定こども園について、1人1人の子どもに寄り添った保育が実践できるよう環境整備が急務です。意見書では、配置基準のさらなる改善と処遇改善を求めています。京都保育団体連絡会の陳情が出されていました。

## 衆議院定数の早急な削減をおこなわず協議を 衆院定数に関し真摯な議論を重ねることを求める意見書 可決

自民党議員団は退席、維新・京都・国民議員団は反対

## 気候危機打開へ より野心的目標を持つべき 日本共産党議員団

### 地球温暖化対策条例改正案に対し、修正を提案

2月市会に提案された、「地球温暖化対策条例」改正案は、2050年温室効果ガス排出ゼロに向けた中間の目標を定めるものです。党議員団は、市長提案の直線的な中間目標では破局的な事態の回避にはとても間に合わないとして、2035年、2040年の目標値を思い切って引き上げる修正案を提案しました。修正案は他党派等の反対で否決されたため、市長原案に賛成しましたが、今後も取り組みの推進に向け奮闘します。